

第 5 学年 道徳学習指導案

5 年 1 組 指導者 坂 本 哲 彦

研 究 課 題

自然保護に対して自分なりの意味付けをし、新たな自分に気づく楽しさを味わう授業

単 元 自然ってすばらしいな

1 研究課題について

本学級の子供は、これまでに「思いやり・親切」や「個性伸長」等の内容項目において学級活動や総合活動と関係付けながら、子供自らが学習課題を設定し、資料や学習箇所・学習方法を選択・決定しながら追求するといった主体的な道徳学習を展開してきた。その学習の中で、一人一人の子供が、諸事象や体験の中から道徳的価値を感じ取ったり、その意味を状況に合わせて解釈したりする力を共に高め合いながら、体験を通して主体的に価値を追求する楽しさ感じてきている。このような子供たちに、人としてよりよく生きたいという願いや意志を確かに持たせ、自分なりの道徳的価値観を育みながら、新たな自分に気づく楽しさを味わわせることは、道徳的価値の自覚を一層深め、生きて働く道徳的实践力を育成することにつながるものと考える。

本単元では、本学級が年間を通して取り組む総合学習「リサーチ創造の森-附小森林調査隊-(第1次)」との関連を図り、「自然の偉大さ・自然環境の保護 3-(1)」を取り上げる。総合学習での豊かな体験に支えられた子供たちは、自然環境を保護するために大切な行動のあり方や気持ちの持ち方を自分なりに整理するという願いのもと、自らの問題意識にあう学習資料(「尾瀬を守って」文溪、または「一ふみ十年」-東書-)を選択し学習を進める。また、自らの学習の進み方を自己評価し、自分の学習のあり方や生活のあり方について見つめていく。この学びの中で、子供一人一人は、資料中の人物「長靖」や「勇」と自分を重ね、互いの道徳的価値観を感じ合いながら、自然環境保護についての自分なりの考えを確かにとともに、今までの自分の姿やこれからのあるべき姿に気付いていくものと考える。

そこで、次のような支援を具体化することによって、課題解明に迫りたい。

- ・ 互いの価値の感じ取り方や意味付け方のよさに気付かせ、進んで考えを深め広げることができるようにするための学び合いの仕方を工夫する。
- ・ 納得や実感を伴って自分を見つめることができるようにするための、体験の振り返らせ方を工夫する。
- ・ 自分の学びを対象化し自己評価するための振り返りの場の工夫をする。

2 目 標

- 創造の森で遊んだり、見学、調査、体験活動をしたりする中で、自然の中で活動することの楽しさを味わうことができるようにする。
- 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることの心情と態度を養う。

3 指導計画（道徳の時間 2 時間、総合の時間 26 時間）

道徳の時間における学習の決定権の委ね方 本単元では、子供の持つ「自然環境保護」に対する考え方の 2 側面（一人一人の心がけの重要性・多くの人へ働きかけることの重要性）に着目し、子供自らが課題にあう資料（2 編のうち 1 編）と学習方法（一人学びの方法・共学者）を選択・決定することができるようにした。	
単元構成・学習活動・学習内容	学びの楽しさに迫る意識
【総合学習】リサーチ創造の森 <第 1 次～始めの活動> (12 時間) 創造の森でたっぷり遊び、自分なりの追求課題をたてる。	・ さあ、創造の森で遊ぼう。私は探検をするよ。僕は、野いちごジャムを作るよ。 ・僕は樹木をもっと詳しく調べてみたいな。
<第 1 次～中の活動> (12 時間) 創造の森の野鳥や昆虫、樹木、歴史等について進んで調べたり、木工作やケナフの栽培などの体験	・ 納得がいく樹木マップができそうだ。 ・ みんな上手にまとめてきているな。 ・ ケナフがかなり大きくなったなあ。
【道徳の時間】 (2 時間) 第 1 時 読み物資料『一ふみ十年』（東書）または『尾瀬を守って』（文溪）を読んで、自分なりの課題をもち、自然の保護に関する自分の考えを書く。	・ 「自然を守る」ってどんなことかなあ。 ・ 自分の中には二通りの考え方があるな。 ・ 一人一人が気を付けることが大切。 ・ 多くの人に働きかけることが大切。
第 2 時 一人学びをしたことを話し合い、自分の体験を振り返るとともに、これらの課題を書く。 本時 2 / 2	・ 勇は「ひどいことをしたな」と後悔したに違いない。  ・ 心情曲線で表そう ・ 勇と僕は似ている。 ・ 最後の言葉を想像して考えよう。 ・ 政府に訴え出た場面を台本にしたよ  ・ 私の考えと同じだ
的な活動をしたりする。	・ 勇も長靖も自然のすばらしさやそのはかなさを実感したからより一層自然を大切にしたいと思ったんだね。僕は今までどうだったかな。今日の学習は、資料選択や体験の振り返りが良くてきた。次は・
<第 1 次～終わりの活動> (2 時間) 「調査・活動報告会」を開く。	・ さあ、発表会だ。他の調査が楽しみだ。 ・ すばらしい発表ばかりだな。満足したよ。 ・ 他の森でも調べよう、体験してみよう。
発 展 「命を大切に」 (5 年)	

4 本時案（道徳の時間 2 / 2）5 年 1 組教室

（１）ねらい 自然のはかなさ、偉大さに改めて気づき、自然環境を大切にしようという心情と態度を培う。

（２）学習過程

学習活動・学習内容	学びの楽しさに迫る意識	支援や評価
自由にグループを作って、一人学びで追求したことを紹介し合う。（15分） 全体で発表し、話し合う。（15分） 自分の納得した考えをノートに書き、体験を振り返って考えたことを発表する。（10分） 自分の体験を振り返る観点 自然を大切にしようとする心情の高揚 自分の学習を振り返り、感じたことをノートに書く。（5分） 学び方の振り返りの観点・意欲 自分なりの課題 次時への意欲	・僕は、「勇」の心の変化を心情曲線を使って表して、普段から自然を大切にする事の難しさすばらしさについて考えたよ。 ・私は、「長靖」が死ぬときの気持ちを想像してみたわ。自分ではここまでできていないけれど、自然を守る活動がやりがいのある仕事だとわかったよ。私の心の地図はこう変化したよ。 ・世の中のみんなが「勇」のように感じて行動することができれば、「長靖」は、これほど苦労しなくても良かったと思う。 ・特に私は、何の見返りもないのに一生懸命働きかける「長靖」の考え方が心に深く残ったよ。 ・自然を守ることは、一人一人の義務だし、みんなの責任だと思う。他人任せは絶対に良くない ・僕は、草花のすばらしさに感動した「勇」の気持ちが創造の森の活動で本当にわかったよ。 ・自分は、「創造の森」で自然のすばらしさを本当に守ろうとしていたのか疑問だな。 ・私は、もっと自然の命に敏感でなければならないと思ったわ。 ・今回の学習は、特に主人公と自分をよく比べられたし、心の地図にもたくさん書き込めたよ。 ・これからの学習のめあてをはっきりさせることができたので、次の道徳の時間が待ち遠しくなったよ。	○自分の考えを友達と進んで深め広げられるように、次の支援をする。 ・全員の課題をボード上に簡潔にまとめておく。 ・始めに同じ資料を選択した者同士で、次に違う資料を選択した者同士で話し合う機会を設ける。 ・<u>自分の体験と結びつけるなど、独自の意味付けをしている子供</u>を価値付け称賛すると共に、その子のよさを他に広げる。 ○様々な価値観をわかりやすく関係付けて板書上に位置付ける。その後、<u>自分の納得した考え方をノートに記述させ</u>、自分の体験を振り返る際の観点にさせる。 ○確かな振り返りができるように、共通体験である総合学習の様子を写真や作文等で提示する。そして、<u>これからの課題等を記述している子供</u>を捉え紹介し、そのよさを他の子供に広める。 ○「もう一人の自分」からの気づきをもらう活動を仕組んだり、以前の道徳ノートを見せたりして自らの学びをより確かに評価できるようにする。